

第26回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

- | | |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 平成9年7月23日(水)
14:00～16:00 |
| 2. 場 所 | 委員会会議室 |
| 3. 議 題 | (1) 前回議事要旨の確認
(2) 地球観測プラットフォーム技術衛星(ADEOS)の機能停止に係る原因究明等の審議状況について
(3) M-Vロケット1号機による第16号科学衛星(MUSES-B)の打上げ結果の評価について
(4) 第6回技術予測調査(宇宙分野)の結果について
(5) その他 |
| 4. 資 料 | 委26-1 第25回宇宙開発委員会(定例会議)議事要旨(案)
委26-2 地球観測プラットフォーム技術衛星(ADEOS)の機能停止に係る原因究明等の審議状況について
委26-3 M-Vロケット1号機による第16号科学衛星(MUSES-B)の打上げ結果の評価について(報告)
委26-4 第6回技術予測調査(宇宙分野)の結果について |

委26-1

第25回宇宙開発委員会（定例会議）

議事要旨（案）

1. 日時 平成9年7月16日（水）
 14:00～14:45
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 地球観測衛星による原油流出・土石流災害の状況把握の結果
 について
 (3) ADEOS-IIに相乗りさせる小型衛星の公募・選定について
4. 資料 委25-1 第24回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委25-2 地球観測衛星による原油流出・土石流災害の状況把握
 の結果について
 委25-3 ADEOS-IIに相乗りさせる小型衛星の公募・選定
 について
5. 出席者
 宇宙開発委員会委員長代理 山 口 開 生
 宇宙開発委員会委員 末 松 安 晴
 “ 長 柄 喜一郎
 “ 秋 葉 鏖二郎

関係省庁

通商産業省機械情報産業局次長
運輸大臣官房技術総括審議官
郵政大臣官房技術総括審議官

河 野 博 文（代理）
栢 原 英 郎（ 〃 ）
麿 昭 男（ 〃 ）

事務局

科学技術庁研究開発局長
科学技術庁長官官房審議官
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

青 江 茂
大 熊 健 司
千 葉 貢 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第24回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）（資料委25-1）が確認された。

(2) 地球観測衛星による原油流出・土石流災害の状況把握の結果について

科学技術庁研究開発局宇宙利用課 藤田課長より、資料委25-2に基づき、本年7月に発生した東京湾原油流出事故及び鹿児島県出水市土石流災害に関し、フランスの地球観測衛星SPOT-2による状況把握について説明があった。

これに関し、委員より、観測場所の指定方法、原油流出海域の7月3日の画像と7月5日の画像の色が違う理由、現在、SPOTと同様の地球観測が可能な衛星の種類及びこれら衛星からデータを取得する方法、今回データの処理に要した時間等について質問があるとともに、災害等に備え、衛星データの搬送、処理及び配布を迅速に行えるシステムとするよう検討する必要があるとの発言があった。

(3) ADEOS-IIに相乗りさせる小型衛星の公募・選定について

宇宙開発事業団計画管理部 柴藤部長より、資料委25-3に基づき、H-IIロケット7号機により平成11年度に打ち上げる予定のADEOS-IIと相乗りさせる小型衛星の公募・選定について、考え方及び選定条件等の説明

があった。

これに関し、委員より、小型衛星の投入軌道高度、企業の他に大学からの応募や小型衛星コンテストの活用の可能性、小型衛星の選定条件の詳細、得られた成果についての取扱い等について質問があるとともに、「非商用活動」という表現は不適當であること、選定スケジュールの内、仮申込みの締切りで公募期間が短くなっているのを、それをやめ、公募期間を長くすること、また、将来的には大学院生や学部生も応募可能な公募方法を検討する必要があるとの発言があった。

以上